

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 569	734	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↑ 17	11	ヘルパンギーナ	↑ 3	2
咽頭結膜熱	↓ 14	20	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 6	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 66	69	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 526	597	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 9	19
水痘	↓ 104	125	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 5	16	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 5	0	マイコプラズマ肺炎	→ 1	1
突発性発しん	↑ 40	29	クラミジア肺炎	→ 0	0

**報告が多い感染症**

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- 水痘

- インフルエンザは、報告数 569件(前週報告数 734件)と減少。地区別では、菊池、宇城、八代に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の118件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 526件(前週報告数 597件)と減少。地区別では、菊池、山鹿、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の89件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 104件(前週報告数 125件)と減少。地区別では、水保、人吉、八代に多く報告がみられます。年齢別では 1歳の 28件を最多に 主に 6歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	139	3	5	19	99	35	4		19		1			8		1		
山鹿保健所	15				44	2			3				*	*				
菊池保健所	134	1	5	24	121	10	1	1	7			2						
阿蘇保健所	7				9								*	*				1
御船保健所	12				7								*	*				
八代保健所	86	1	1	1	54	10												
水保保健所	5	2		1	10	13		1					*	*				
人吉保健所	53	1		1	20	15		1	2				*	*				
有明保健所	21	6	1	2	97	9			1			1		1				
宇城保健所	76	2	2	6	45	5			5		1	3	*	*				
天草保健所	21	1		12	20	5		2	3		1							
計	569	17	14	66	526	104	5	5	40	0	3	6	0	9	0	1	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
インフルエンザ	569	1	5	20	28	31	38	38	58	39	44	38	118	17	11	29	20	14	7	9	4
小児科定点年齢	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	17	10	3	4																	
咽頭結膜熱	14			7	2		1	1			1		1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66			2	6	9	7	14	12	2	5	1	6		2						
感染性胃腸炎	526	9	44	89	53	65	42	27	38	21	20	19	40	10	49						
水痘	104	2	6	28	23	19	15	6	2		1	1	1								
手足口病	5			2	2		1														
伝染性紅斑	5		1		1		1	2													
突発性発しん	40	2	16	20	2																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	3			2	1																
流行性耳下腺炎	6			1		2		1	2												
眼科定点年齢区分	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0									1				1	1	1	2	1	1	1	
流行性角結膜炎	9									1				1	1	1	2	1	1	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1								1												
マイコプラズマ肺炎	1			1																	
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

インフルエンザ: 菊池、宇城

感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池

風しんの発生が  
続いています  
予防接種を  
受けましょう!



【風しんの発生が続いています。予防接種を受けましょう。】

風しんは2～3週間の潜伏期を経て、発疹、発熱、リンパ節の腫れなどがみられますが、感染しても明らかな症状が出ない場合もあります。まれに脳炎などの合併症が起こることがあり、大人が感染すると症状が重くなる場合が多いとされています。風しんの予防接種は、以前は女子中学生のみを対象に行われており、予防接種を受ける機会のなかった成人男性での発生が多くなっています。県内の今年の累計報告数は21件、そのうち18件が3月の報告です。患者の8割以上が20代～50代の男性で、地域は熊本、御船、八代、水保、人吉と県南地域からの報告が多くなっています。今後、さらに流行が拡大する可能性がありますので、今後の動向に注意してください。

- 妊婦は注意! : 妊娠初期に風しんにかかると赤ちゃんの目や耳や心臓に障害をきたす可能性があります。風しんにかかったら妊婦や、妊娠しているかもしれない人に近づかないようにしましょう。
- 予防接種を受けましょう : 定期予防接種対象者は必ず予防接種を受けましょう。また、妊婦の感染を防ぐために、妊娠希望者や妊娠の可能性の高い方、妊婦の夫や子どもさん等は、任意で予防接種を受ける事を検討しましょう。(妊娠中は風しんの予防接種を受けることはできません。)